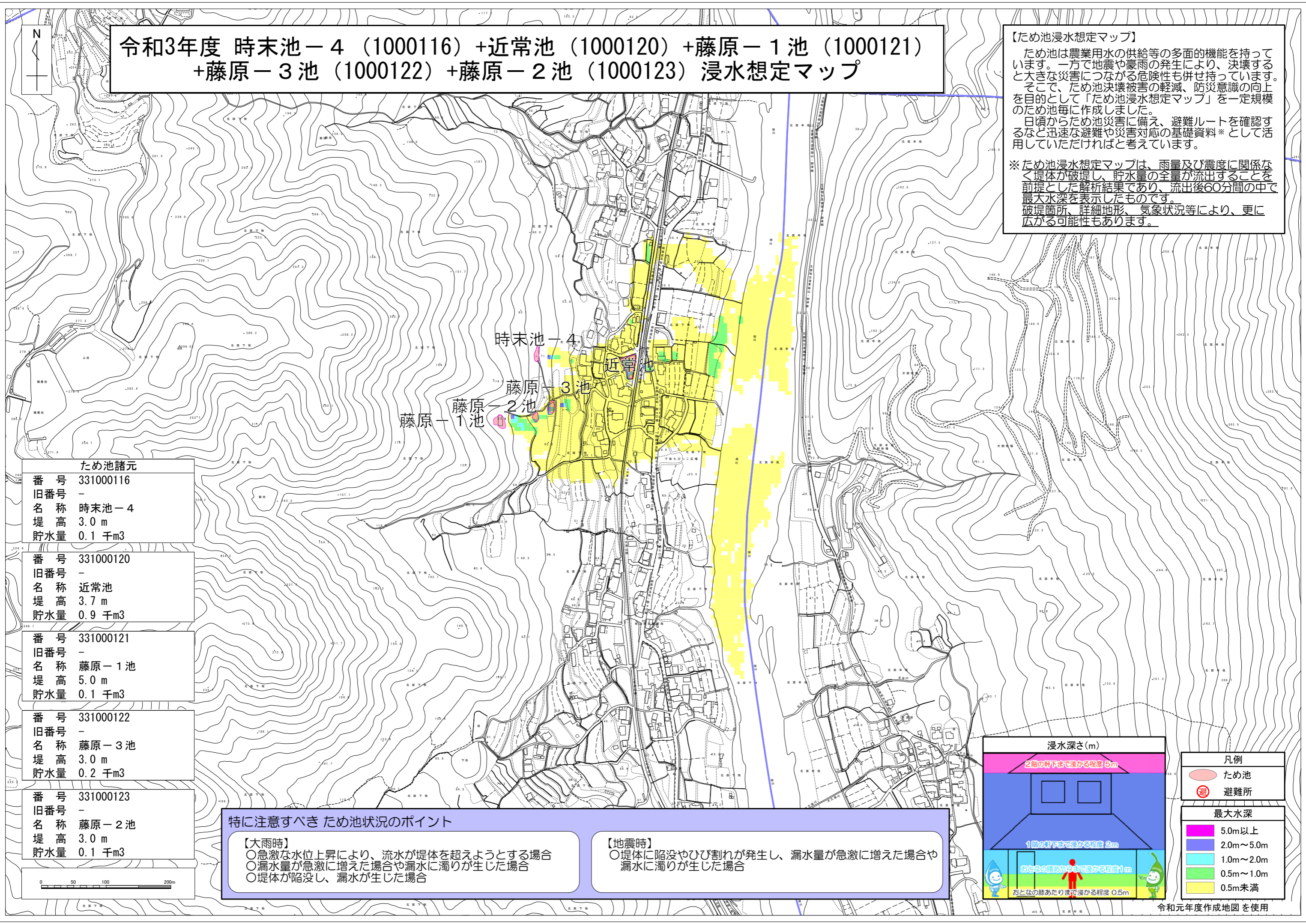


令和3年度 時末池－4 (1000116) +近常池 (1000120) +藤原－1池 (1000121) +藤原－3池 (1000122) +藤原－2池 (1000123) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。
 日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料※として活用していただければと考えています。
 ※ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。
 破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。

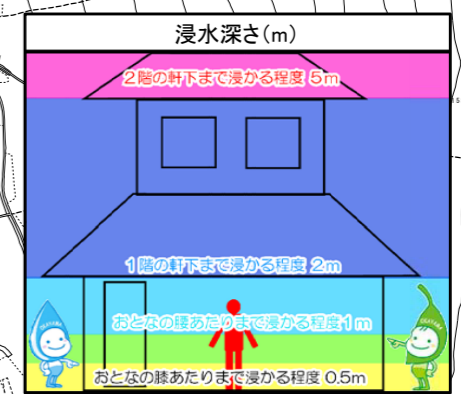


ため池諸元	
番号	331000116
旧番号	-
名称	時末池－4
堤高	3.0 m
貯水量	0.1 千m3
番号	331000120
旧番号	-
名称	近常池
堤高	3.7 m
貯水量	0.9 千m3
番号	331000121
旧番号	-
名称	藤原－1池
堤高	5.0 m
貯水量	0.1 千m3
番号	331000122
旧番号	-
名称	藤原－3池
堤高	3.0 m
貯水量	0.2 千m3
番号	331000123
旧番号	-
名称	藤原－2池
堤高	3.0 m
貯水量	0.1 千m3

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合



凡例	
	ため池
	避難所
最大水深	
	5.0m以上
	2.0m～5.0m
	1.0m～2.0m
	0.5m～1.0m
	0.5m未満

